

体験グローバル 「ホーコス株式会社」の講演

2018年6月5日 7 時間目に4年生を対象に、ホーコス株式会社の菅田雅夫さんと唐木俊夫さんを講師としてお迎えし、「海外展開」をテーマにご講演いただきました。

小型卓上工作機械製作，戦後は農機具（縄なえ機）の生産，その後，工作機械の生産を再開し，オンリーワン技術を磨き上げることで自動車生産機器の画期的な開発を行い，現在のように世界の自動車製造関連会社へ納品するようになった経緯や，現在，環境改善機器と建築設備機器そして建築設備機器の3部門で展開していることなどをお話いただきました。

また，海外赴任をした社員がたくましくなり，帰国後中心として活躍するようになってきているという話をされ，みんなも将来必ず世界とつながるようになるので，スーパーグローバルハイスクールの生徒として，若いときからいろいろなことに興味を持って挑戦してほしいとエールをいただきました。

生徒との質疑応答も活発に行われ，生徒の「福山の地から都会への移転を検討されたことはありますか？」という質問に対しては，通勤時間など都会より福山のほうに利があることや，新幹線などを使うと名古屋，東京などへも短時間で移動できるし，グローバルな視点からは東京より韓国などアジア諸国に近いので，地方の中核都市である福山でも十分活躍できると，逆に地元・福山の良さをお話いただきました。

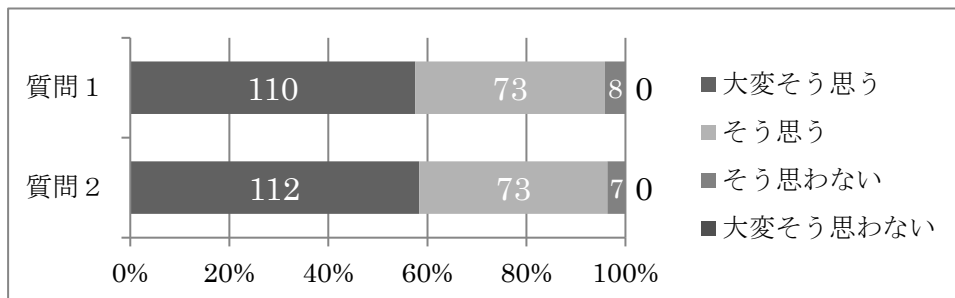


講演後の生徒のアンケートをまとめると以下のようになりました。

質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。

集計結果
*総数192



〔生徒の感想〕

- 講演を聞いて、「なんでこんな大きな素晴らしい企業を今まで知らなかったんだ」と思った。自分たちで新しい技術を作り出し，そしてその特許を日本だけでなく海外の国々でも取っている。実際にそれがたくさんの方でウケている訳で，ほんとにすごいなと思った。福山にも大きな事業所があるのに，知らなかったことが不思議だった。技術の進歩だけでなく，環境のことも考えているというのは感動させられる。それも含めて進歩なのだなと思った。
- タイへの進出では，法律が整備されておらず，苦勞も多かったが，社員の努力によって工場をつくることができたこと知り，さまざまな困難や苦勞があっても乗り越えていける力が必要だと思いました。ホーコスが現在に至るまでには，自動車部品の事業参入，新たな機械の導入など常に新しいことへ目を向けていたので，新しいものを見分け，選ぶ眼が必要だと思いました。
- ホーコスは工作機械の製造はもちろん，自然環境への配慮を考えて事業を行っていることがわかりました。その技術が日本のみならず海外の企業にも認められていて，福山が誇るオンリーワン・ナンバ

一ワン企業だと思いました。わたしたちもこれからグローバル化の波の中で生きていかなければならないことが改めてわかりました。

○テレビのスポンサーとして名前が出ているのを見たことはあったけど、どんな仕事をしてるのか全く知らなかった。今日、独自の高度技術を用いて効率よく環境にやさしい製品を開発し、その技術を海外に広めていることを知りました。ものすごくグローバルな活動を意識されていて、今後他の企業が海外進出した時に一歩先を歩めるすばらしい企業だと思いました。



○ホーコスさんは海外に拠点を置いている規模がとても大きい企業で、今までの企業とは少し味が違った講演を聞いて本当によかった。また、講演をしていただいた方々はみなさん、私たちの先輩だということを知って、少し親近感が持てたと同時に、附属の卒業生にはここまで壮大な事業を推し進めているすごい人がいるということにすごく感心した。環境に目を向けた効率的な働きをする工作機械の概要や製作過程を見られたのも、自分にとって新鮮で、専門的なことはあまり知らないが、それでもやっていることが本当にすごいことだということは何となくわかった。ビデオをみせていただいてよりわかりやすかった。



○ホーコスという会社は、今までなんとなく聞いたことがありました。でも、海外とこんなにつながっているなんて知りませんでした。企業の業績が伸び悩んでいるときに、新しい技術と発想で、会社を立て直したりしていて素晴らしいと思います。福山には「たくさんのオンリーワン企業がある」ということは、前から聞いていましたが、それを「本当なんだ」と、実感することができました。将来、東京とかで、働いてみたいと思っていましたが、地元で働くのもいいと思いました。

○ホーコス株式会社は、積極的に海外展開をしていてすごいと思いました。IQMLは、従来の切削機械よりも、切削油を減らす方法を求め続けてきた、努力の結果なのだと思います。自動車の部品を作る機械も、世界進出していて、日本の技術はすごいと誇らしく思いました。また、企業が、コスト、電力の削減に向けて努力しているということがわかりました。世界に通じる技術を開発して、世界で活躍するのは大変だと思うけど、視点を外に向けて考えることは大切だと思います。

○今回の講演はずっと前から興味があった内容だったので、とても興味を持ってきけた。特に、海外に社員を派遣しなければならないとき、誰を派遣するかで困る、という話はとても共感した。言葉も文化も違う土地で働くのは大変だしストレスも溜まると思うのでだいたい人は行きたくないと思うだろうが、行けばいろいろなことを知れると講演で知ったので、僕がそのような機会に出会ったらすすんでやろうと思いました。

○今回のこの講演を聞くまでは、こういう機械をつくる工場は競争社会であるだろうから、とりあえず性能のよいものを作ろう！というイメージでしたが、環境保全の為に省エネのものを作っているのにとっても驚きでした。しかも、環境に良いものであるのに高性能だと聞いて、昔からの技術、工場員の努力があったからこそのことだなと思いました。こんなすごい会社が自分の身近な場所にあったのを知らなかったのが、今までは社会人になるときはやはり都会でないと・・・という考えが大きく変えられました。